



「自分たちのまちは自分たちで創る」
 ～朝来市の地域協働のまちづくり～



朝来市 市長公室 まちづくり課

朝来市 ～人と緑 心ふれあう 交流のまち～

平成17年4月1日誕生

生野町・和田山町
 山東町・朝来町 4町が合併

面積 402.98km²

人口 33,406人(平成24年2月末)



【セクション1】
朝来市の現状 ①

▶ 深刻な少子高齢化

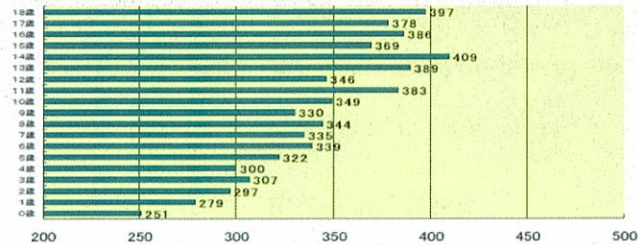
◇ 高齢化率 (平成24年3月末現在)

29.8%

限界集落数: 10区

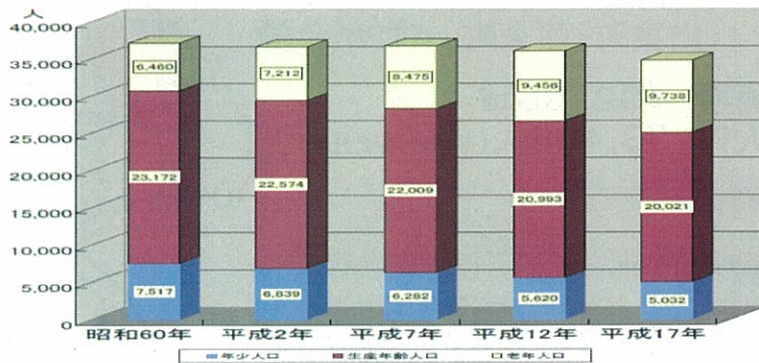
市内161区のうち40%の区が
限界集落又は準限界集落

◇ 18歳以下の人口 (平成20年3月末現在)



【セクション1】
朝来市の現状 ②

▶ 進む人口減少と少子高齢化



【セクション1】

朝来市の現状 ③

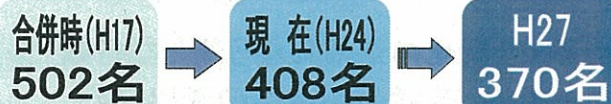
▶ 厳しい市の財政状況

◇ 財政力指数 0.54

◇ 地方交付税の減少

◇ 市職員数の減少

〈職員適正化計画〉



【セクション1】

朝来市の現状 ④

▶ 地域の現状

◇ 区単位の自治会運営が困難に

- ・ 役員のなり手に偏りが生じている。
- ・ 行事の存続、作業(日役など)が困難に。
- ・ 子ども会が成り立たない。



◇ 農村集落では遊休農地が増加

- ・ 農地の荒廃が進み、原野化し、獣害などが増大。



◇ 空き家の増加

- ・ 農村地域よりも街中の方が高齢化が深刻なところも。

◇ 安全・安心の生活への不安

- ・ 平日昼間の地域内は高齢者がほとんど

【セクション1】

朝来市の現状 ⑤

▶ 社会背景 ～分権型社会への流れ～

◇ 自立した自治体へ

平成12年の地方分権一括法の施行を契機として、地方分権改革が大きく進み、自立した自治体への変革が求められています。

◇ 多様化する行政ニーズ

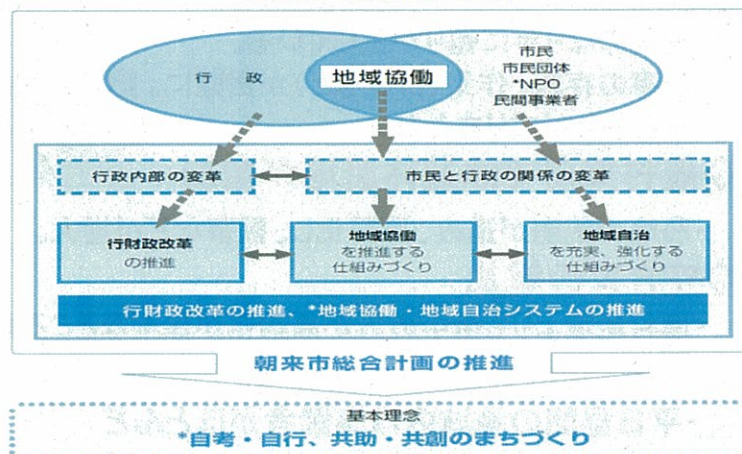
少子・高齢化の進展に伴う新たな行政ニーズや、若者の都市への流出など、早期の課題解決が求められています。

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ①

▶ 朝来市の総合計画を推進する地域協働の仕組みづくり

〈 地域協働・地域分権型社会の実現 〉



【セクション2】

朝来市の地域自治システム ②

- ▶ どのような仕組み、どのような組織とするか

分権型社会システム検討懇話会の設置

(平成17・18年度)

◇ **新しい仕組みづくりの検討**

朝来市のまちづくりの基本的な考え方を「**自考・自行、共助・共創のまちづくり**」とし、一定の地域範囲の中の住民自治を進めるための仕組みを検討。

※ **仕組み自体が全国一律のものではなく地域特性に応じた仕組みとする。**

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ③

- ▶ **自考・自行、共助・共創のまちづくり** (まちづくりの基本理念)

- ・自分たちで考え行動していくことができる組織
- ・区単位ではできないことができる組織

- ▶ **補完性の原則**



区(自治会)が中心となって、地域内の個人、団体、法人等が参画して、様々な地域課題を解決していける

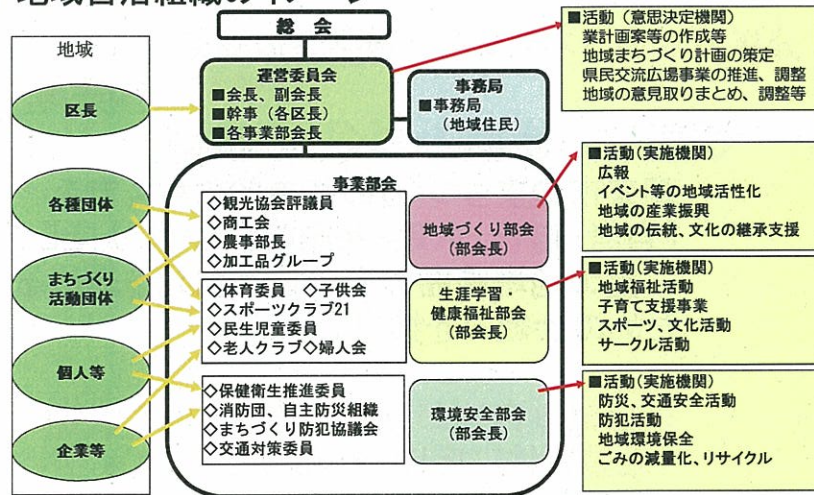
「地域自治協議会」を設置する。(概ね小学校区を単位)



【セクション2】

朝来市の地域自治システム ④

▶ 地域自治組織のイメージ



【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑤

▶ 地域自治システムを構築するための支援策 1

人的支援

◇地域支援職員の配置 H19.6～

- ・小学校区毎に6名 (市長が任命、任期3年)
- ・旧町単位に支援部長を設置
- ・全小学校区に計76名を任命

<地域支援職員の役割>

- ・住民自治の充実、強化を図るための地域自治協議会の設立に向けた準備支援。
- ・円滑な地域自治協議会の運営のための助言、情報提供。
- ・地域におけるまちづくり活動と全市的な施策との調整。
(地域協働の推進)

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑥

- ▶ 地域自治システムを構築するための支援策 2

財政的支援

◇地域自治協議会設立

支援交付金の交付(平成19年度)

- ・協議会設立支援金として
1小学校区あたり50万円
- ・地域自治協議会設立に向けて
意思表示をした団体(準備委員会など)
- ・設立準備作業にかかる経費を
支援する。

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑦

- ▶ 地域自治システムを構築するための支援策 3

第2次

分権型社会システム検討懇話会の設置
(平成19・20年度)

◇自立した自治体経営のしくみづくり

- ・地域協働の指針
- ・自治基本条例
- ・市民憲章



【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑧

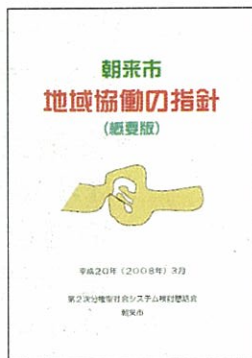
- ▶ 地域自治システムを構築するための支援策 4

制度的支援

◇協働の指針 <1>

平成20年3月策定

- ・朝来市の地域協働の基盤となるのが「地域自治協議会」であることを明記。



【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑨

- ▶ 地域自治システムを構築するための支援策 5

制度的支援

◇協働の指針 <1>

- ・地域自治協議会を中心として、市民と行政の役割を分担しながら、効率的で効果的な地域協働のまちづくりを進めるため「地域協働の原則」を定める。

<地域協働の原則>

- 「目標の共有の原則」「対等の原則」「相互理解の原則」
- 「自主性尊重の原則」「自己改革の原則」「自立化促進の原則」
- 「補完性の原則」「透明・公開の原則」「相乗効果の原則」
- 「できるところから」「評価・見直しの原則」

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑩

- ▶ 地域自治システムを構築するための支援策 6
制度的支援

◇自治基本条例<2>

・協働のまちづくりの基盤となる
 地域自治協議会について明記

協働のまちづくりの基盤ともなる地域自治協議会の要件

- ① 地域の総意が反映される組織。民主的、透明性の確保。地域内の誰もが希望に応じて運営に参加できる組織。
- ② 地域の課題を共有し、その解決に向けて取り組む地域のみちづくり目標、活動方針等を定めた地域まちづくり計画を策定すること

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑪

小学校区	協議会名	設立年月日	世帯数	人口	高齢化率	集落数
生野	いくの地域自治協議会	H20.6.28	1,210	3,284	31.27	14
奥銀谷	奥銀谷地域自治協議会	H20.5.24	463	1,019	41.51	8
糸井	糸井地域自治協議会	H20.2.24	1,053	3,032	26.25	15
大蔵	大蔵地域自治協議会	H20.3.23	1,253	3,467	25.18	12
和田山	和田山地区地域自治協議会	H20.9.28	1,982	5,270	24.55	15
東河	東河地区協議会	S30年代	518	1,606	22.60	9
竹田	竹田地域自治協議会	H20.3.23	1,181	3,342	31.81	19
梁瀬	梁瀬地域自治協議会	H20.9.28	1,261	3,472	28.02	19
粟鹿	粟鹿地域自治協議会	H20.7.27	490	1,334	32.68	10
与布土	与布土地域自治協議会	H19.6.17	492	1,386	35.35	10
中川	朝来地域自治協議会	H19.12.23	1,063	2,945	32.43	11
山口			1,280	3,589	33.94	19

【セクション3】

朝来市の地域自治システム ⑫

▶ 地域自治協議会の自立支援 1

◇ 地域自治包括交付金の交付

地域の創意と工夫、
地域の判断と責任に基づいて執行

＜包括交付金で取組む事業＞

- ・事務局運営費 180万円(1小学校区あたり)
 - ・協議会実施事業
 - ・地域づくり補助事業
 - ・区コミュニティ活動助成事業(平成21年度から)
- ＜補助事業等について＞
- 協議会毎に補助要綱を定める
 - 実施団体の自己負担10%以上を求める。
- ・地域協働事業(平成22年度から)

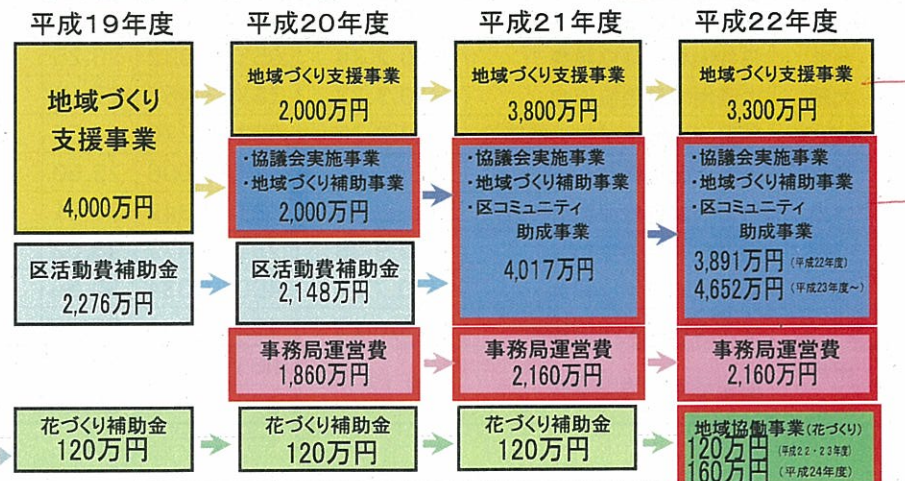
【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑬

▶ 地域自治協議会の自立支援 2

◇ 地域自治包括交付金

地域自治協議会へ
地域自治包括交付金として交付



【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑭

▶ 地域自治協議会の自立支援 3

【地域づくり支援事業】

地域(区など)が実施する自治振興や地域の活性化を図るための事業に対して市が要綱に基づき補助を行なう事業。



協議会へ移行した事業

- 【平成20年度～】
- ・ゴミ集積施設整備
 - ・案内板整備
 - ・掲示板整備
 - ・水路等清掃整備
 - ・防犯施設整備
 - ・防災資機材整備
 - ・地域づくりソフト事業

- 【平成23年度～】
- ・広場等整備
 - ・緑化等整備
 - ・分別集積施設整備

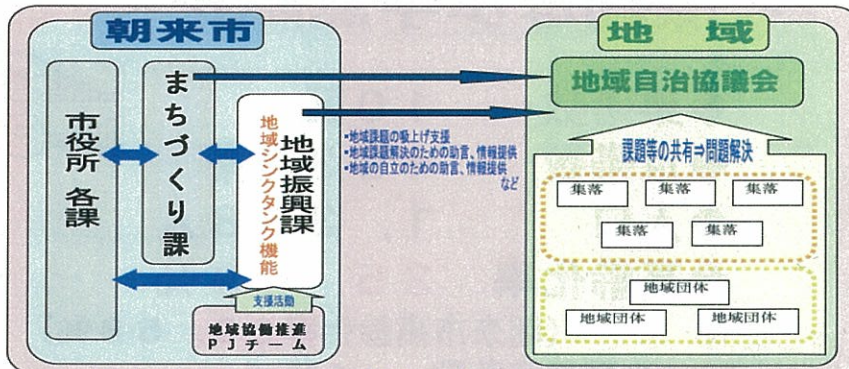
市で対応する事業

- ・公衆用トイレ整備
- ・有害鳥獣進入防止柵整備
- ・地域内道路整備
- ・地域内環境整備
- ・農業用道路整備
- ・地縁団体認可申請
- ・生活用水路整備
- ・NPO法人の設立認可申請
- ・農業用水路整備
- ・特認事業
- ・共同施設等整備
- ・災害防止等整備
- ・生活飲料水供給整備

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑮

◇地域支援体制の再編



- 地域支援体制の機動性、専門性の確保
- H22.6～地域支援PJ H24.6～地域協働推進PJ

▶ (各小学校区3名を基本として、地域の実情に応じて柔軟に対応)

【セクション2】

朝来市の地域自治システム ⑩

▶ これからの朝来市の協働のまちづくりの方向性

第3次

分権型社会システム検討懇話会の設置
(平成23・24年度)

地域協働のまちづくりを推進するための
実践計画づくり

- ・公共を担う団体(地域・NPO・行政など)の現状整理
- ・地域分権のあり方検討
- ・地域で担う公共の整理
- ・協働事業の年次計画づくり

【セクション3】

朝来市与布土地域の事例①

▶ 地域自治協議会設立の必要性①

～深刻な少子高齢化～

◆集落数	10区
◆世帯数	493世帯
◆人口	1,358人
◆高齢化率	35.49%



(朝来市高齢化率29.58%)

※限界集落数 : 1集落

※準限界集落数 : 4集落



【セクション3】

朝来市与布土地域の事例②

- ▶ 地域自治協議会設立の必要性②

～次世代へ与布土をつなぐ～

「いつまでも元気な与布土を守り
未来の子どもたちのために引き継ぐ」

今生きている私たちの責任



地域の相互協力と
地域の力をつける仕組みが必要



【セクション3】

朝来市与布土地域の事例③

- ▶ 地域自治協議会設立の必要性③

～新たな地域自治組織へ～

「自分たちのことは自分たちで」

◇地域課題を地域で解決する組織へ

◇お互いに助け合える仲間へ



与布土地域自治協議会設立

(平成19年6月17日)



【セクション3】

朝来市与布土地域の事例④

▶ 地域自治協議会設立の流れ

第1段階
区長会での意思決定

平成18年12月

- 設立に向けた取り組みを行うことを決定
- 取り組み方法等の決定、準備



第2段階
座談会の開催

平成19年1～3月

- 地域住民が自由に意見交換
- 地域課題・宝物を共有
- 地域の目標、将来イメージを共有



【セクション3】

朝来市与布土地域の事例⑤

第3段階
設立準備委員会での協議

平成19年4～6月

- 設立に向けた組織体制、規約、予算等具体的な検討
- 区長会三役と座談会のメンバーで構成



第4段階
協議会設立総会

平成19年6月17日

- 設立総会の開催



第5段階
協議会の運営

- 運営委員会で地域まちづくり計画の策定、総合調整など
- 部会ごとの地域自治活動

【セクション3】

朝来市与布土地域の事例⑥

▶ 座談会の流れ

第1回

自分たちのまちの
宝物・課題を知ろう。
与布土地区の宝物・課題の共有する。

第2回

自分たちで出来ることを考えよう。
課題解決に「自分たちでできること」を考える。

第3・4回

「夢」「思い」を「行動」につなげよう。
「自分たちでできること」を
「自分たちで取り組むこと」に
発展させて企画書を作る。

第5回

自分たちのまちの課題を
自分たちで解決するシステムを
考えよう。
与布土地区にあった機能する組織を考える。

【セクション3】

朝来市与布土地域の事例⑦

▶ 座談会の様子



【セクション3】

朝来市与布土地域の事例⑧

▶ 座談会を通して参加者の気持ちの変化

座談会の当初

「発言」
の喜び

「共有」
の喜び

個人の
「思い」

地域の
「思い」

座談会の終盤

地域の「行動」

「地域づくり」は
楽しい！！

<感想カードから…>

- 「楽しかった」
- ▶ 「充実した時間だった」

「地域みんなの知恵と汗で
地域づくりを！」

【セクション4】

朝来市与布土地域の事例⑨

▶ 座談会と協議会のつながり

座談会の成果物

「地域課題」

「企画書」

※ 「地域課題」を解決するため
「地域で取り組むこと」をまとめた企画書

地域自治協議会
事業計画

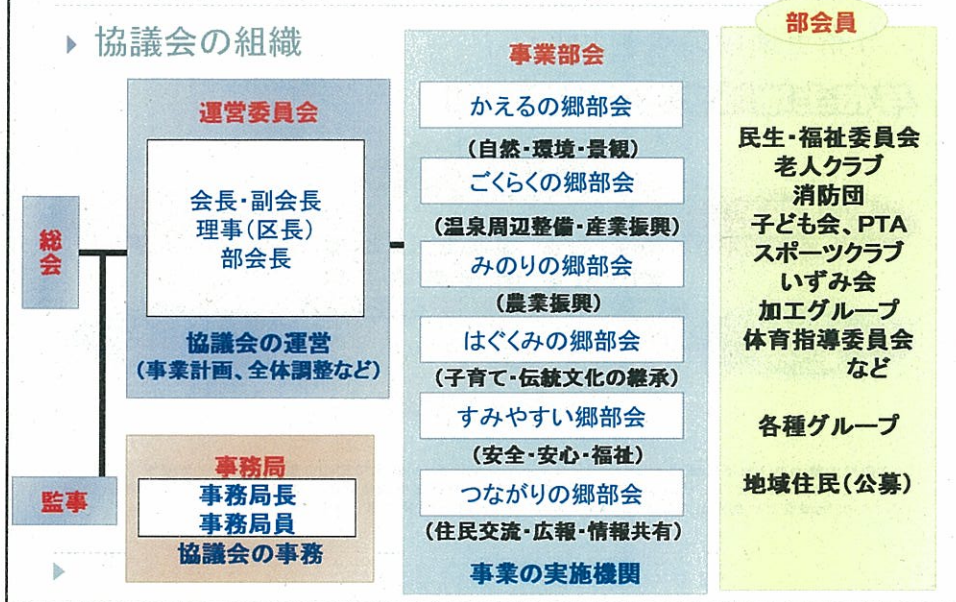
座談会の参加者

- ・ 設立準備委員会 委員
- ・ 協議会事業部会 部会員



【セクション3】
朝来市与布土地域の事例⑩

▶ 協議会の組織



【セクション3】
朝来市与布土地域の事例⑪

▶ 地域まちづくり計画の策定

◆ **地域目標の共有**
協議会の活動の羅針盤
づくりの必要性

↓

地域課題の整理

↓

地域まちづくり計画の策定 (平成20年4月)

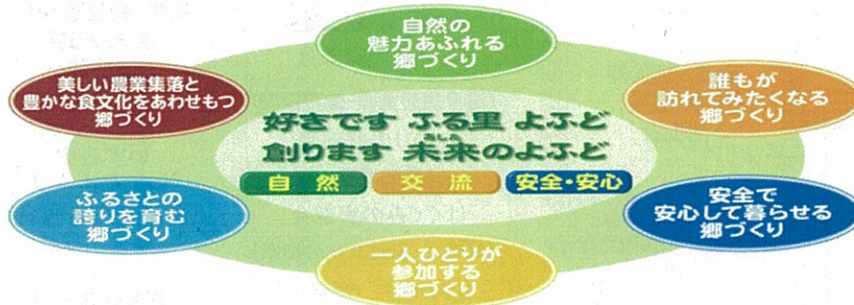


【セクション3】

朝来市与布土地域の事例⑫

▶ 与布土地域の事例より

与布土地域まちづくり目標



「自然の魅力あふれる地域づくり」と、「人々がともに助け合い、安全で安心な暮らしができる地域づくり」を、みんなが参加してつくりあげることを目指し、また、古き良き伝統文化の継承を図りながら「温泉を中心とした地域交流や都市との交流」を深め、活力のある与布土の郷づくりを目指します。

【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介①

▶ 与布土地域の部会活動事例(かえるの郷部会)

～自然の魅力あふれる郷づくり～



川の清掃活動



自然観察会
(子どもたちへつなぐ)



自然・歴史文化を知る
勉強会の開催

【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介②

▶ 与布土地域の部会活動事例(ごらくの郷部会)

～誰もが訪れてみたくなる郷づくり～



花苗植栽活動



ほたる街道整備



かかし祭り
開催



温泉周辺整備
彼岸花植栽

平成19年度
地域の球根を集めて
平成20年度
県の事業を活用して



温泉のイベントに協力

【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介③

▶ 与布土地域の部会活動事例(みのりの郷部会)

～美しい農業集落と豊かな食文化をあわせもつ郷づくり～



都市との交流事業



元気な農業集落づくりへ



地産地消への取組み

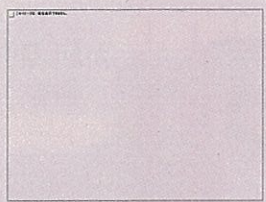


【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介④

▶ 与布土地域の部会活動事例(はぐくみ郷部会)

～ふるさとの誇りを育む郷づくり～



わくわくキャンプ
(小学3年生以上)



史跡を巡るふれあい
ウォーキング(春・秋)



手作りたこあげ大会



ちびっ子集まれ
(地域学童保育)

【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介⑤

▶ 与布土地域の部会活動事例(すみやすい郷部会)

～安全で安心して暮らせる郷づくり～



集落間の防犯灯設置



ふれあいサロン開設(第1・3土曜日)



AED・心肺蘇生法
講習会開催

【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介⑥

▶ 与布土地域の部会活動事例(つながりの郷部会)
～一人ひとりが参加する交流の郷づくり～



ホームページ
の開設
よふど通信発行



各種講座の開設(パソコン教室、布ぞり教室など)



住民交流事業



ふるさと小包便



人材発掘・育成事業

【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介⑥

▶ 与布土地域自治協議会設立後の地域の変化

● 協議会は地域づくりの基盤

- ・誰でも気軽に地域づくりに参加できる体制に…
- ・「思い」を「かたち」に… 子供や女性の声を反映できる体制

● 行政に頼らない地域経営

- ・まずは自分たちができることから…
- ・自主財源の確保に向けて

● 地域の一体感

- ・隣の集落も我が地域！

● 生涯学習の場

- ・参加者みんなが楽しく(企画、運営、講師、参加者…)
- ・自己実現の場、技能の地域への還元の場



【セクション3】

朝来市内地域自治協議会の実践事例紹介⑦

▶ 与布土地域自治協議会の方向性

● 目指すは、与布土村役場

- ・地域の課題を解決する
- ・地域みなさんに役立つ
- ・区や団体を補完する

● 自律した地域経営

- ・地縁団体の設立
- ・民主性を確保した組織づくり
- ・自主財源の確保

